

# そよかぜ組の1年

そよかぜ組で過ごすのも残り1ヶ月となりました。今年度はコロナ渦で不安な日々となってしまいましたが、その中でも元気いっぱい笑顔いっぱいのそよかぜ組の子どもたちから元気を沢山頂きました。またたくましく大きく成長した姿に嬉しさを感じています。残り2カ月を楽しく更に一人ひとりの「力」がより大きく育つよう過ごして行きたいと思います。

**年間目標:新しい環境に慣れて、安心して過ごす。**

**保育者に見守られながら、好きな遊びを楽しむ。**

★日々の生活を通して様々な【学び】となる様意識しています。といっても、まずは子どもと保育士の信頼関係を築く事が一番大切。甘えたい時は、保育士の膝の上でくつろいだり、ぎゅーと抱きしめてもらう事で心が満たされ【学ぶ】事に繋がっていきます。残り僅かとなりましたが「安心して甘えられる環境」をしっかりと作りながら色々な事を伝えていきたいなと思います。

## 基本的な生活習慣【身支度・排泄・食事・衛生など生活する上で必要な力を育む】

- 手を洗ってバイキンばいばい・・・「石鹸は1回ね」のお約束を守りながら手を洗います。袖もぎゅーととても上手にめくっていますよ。  
鼻水が出ていてもまだまだ気にならないそよかぜさん。「ティッシュでふいて」と声をかけると自分なりに拭いています!!「仕上げはせーんせ(先生)」とおしあげしています。
- お茶を飲むってとっても大切よ・・・「お茶ですよー」の保育士の声掛けに自然と集合するそよかぜさん。「お茶を飲むと元気だね」と声をかけてもらいながら、「水分補給の大切さ」が身に付くといいですね。
- 牛乳を飲んだら白いおひげを拭いてね・・・牛乳を飲んだ後はかわいらしい白いおひげが!!「白いおひげが付いてますよ」の声掛けにティッシュできれいに拭いてゴミ箱ポイッ。身なりを整える事の基本ですね。
- 洋服、汚れたから着替えましょう・・・「汚れている」「濡れている」という感覚や言葉を覚える事もとても大切ですね。保育士が努めて言葉で伝えることで「汚れているんだな」「濡れているんだな」と気づく力に繋がりますね。
- 身支度いろいろ、自分でやりたいな・・・園庭に行く時は①上着②靴下③カラー帽子④靴とお支度がいっぱい。今では「お外に行きましょー」の声を聞くと廊下へ行って自分の上着を取りにいくそよかぜさん。まだ一人で着る事は難しいけれど一人で着ようとする姿も見えて来ました。たとえ上手に着れなくても「自分でやろう」とした姿に「おお!!すごいねえ、自分で着たの!?!」と声をかけ更なる意欲に繋がる様になっています。
- 着脱・・・オムツをはく時は、ずぼんを座布団代わりにしています。オムツの両脇を引っ張って「うんとこしょっ」と引っ張ります。これはなかなか握る力や腕を曲げてひっぱる等難しい動作ですね。そよかぜさんでは「シュシュ」を玩具として用意しています。足首に「シュシュ」をいっぱい付けてとってもご機嫌。両端を持つ事、引っ張る事が遊びながら習得出来るのでお勧めですよ。  
洋服を脱ぐときは「やっpegらん」とあまり手を出さない様にしています。時折(こっそり)お手伝い。あたかも自分で脱げたか様にお手伝いしています!!着る時も裾を持たせ手を添え一緒に着る様にしています。自分で服を引っ張って顔を出す時に「ばああああ」と言うとても大喜びです。まだまだ一人では出来ないけれど、自分でやってみようとする気持ち、自分で出来たという思いを感じられるようお手伝いしています。
- 自分の物、分かるよ!!・・・ロッカー、靴下入れ、カラー帽子入れ、汚れ物入れには【個人のマーク】が付いています(ふたば組になってもマークは変わりません)入園してから「にじこちゃんのマークはくまさんね」と声をかけ続けることで次第に「自分のマーク」が分かってきます。自分の持ち物の場所が分かる事で身支度もとても上手になります。(時々間違えてしまいますが・・・)靴下やカラー帽子を自分で出していざ!!お外へ。靴下もズボンやパンツと同じ要領ではく練習をしています。
- トイレトレーニングは楽しくね・・・トイレトレーニングはいつからですか?との質問を頂く事がありますが・・・実は生まれた時から始まっているのです。オムツを替える時に「バッチイね」「気持ち悪いね」「きれいにしようね」「新しいオムツ、気持ちいいね」そんな声掛けがまさにトイレトレーニング!!そんな赤ちゃん時代を経てそよかぜさんでは、「便座に座る」「トイレは怖くないよ」という事を目標にしています。時折タイミングが合い排尿をする事も多くなってきました。そんな時こそ絶好のチャンスです。「おしっこでたね」「すっきりしたね」「おしっこバイバイね」と沢山声をかける様にしています。自分の体から出たこの得体の知れないものが「おしっこ」であるという事が分かる事がとても大切ですね。
- お食事マナーは大切に・・・まだまだ手づかみでも大丈夫!!でも少しずつ【食具(スプーンやフォーク)】を使う様声をかけています。椅子にはかっこ良く座ろうね、左手はお皿にがっちゃんこ(お皿に手を添える)、お皿はお引越してね(食べるお皿はお腹の前に移動する事)頂きますとごちそうさまはきちんとね等なお食事のマナーをしっかり伝えていきます。まだまだ上手くは出来ませんが、少しずつ少しずつ練習ですね。子どもはすっぱい、にがい、からいものは大の苦手!!好き嫌いがあるものですね。「命」を頂く事や作ってくれた方へのありがとうの気持ちが育つよう、少しでも食べられる様工夫しています。

遊び（遊びを通して、考える力や人との関わり、発語への意欲が促されるようにしています）

- 身体を動かすって楽しいぞ…体操やマットの山登り、はいはい競争にトランポリン、くすぐりっこ、かけっこ e t c . . . 。子どもが楽しみながら体を動かせるよう工夫しています。体全体を使う大きな動きは【体幹】（のちに長い時間椅子に座るときにとっても大切ですね）を鍛え、怪我防止にも大いに役立ちます。【みどりの広場】へのお散歩も大人気。友達と手を繋いでLet 'Go!!広場を走りまわったり、坂道を転がったり…。ありやだんご虫、どんぐり等宝物もいっぱいです。固定遊具は無いけれど、身体を動かしたり、自然と触れあえるとても良い公園です。行きも帰りもしっかり歩いて、「車ですよー」→忍者になって端に寄って止まります  
ご近所の方にあったら保育士の「こんにちは」と一緒に子どもたちも「こんにちは♥」。交通ルールや近隣の方たちの触れ合いの場にもなっています。
- 小さいものもつかめるよ…折り紙ちぎり、シール張り、絵の具遊び、お絵描きなど指先の動きを高める為の活動も沢山取り入れました。絵の具遊びでは、直接触ってみて、ヌルツとした感触や冷たい感触を味わいながら遊びました。紙をちぎる事も、実はとても難しい動きなのですが切れる時の音やビリビリとした振動がもうやめられない!!といった様子で夢中で取り組んでいました。指先の動きを高めることで、ボタンやファスナー、将来的にはお箸や鉛筆など様々な活動の基礎になるのでこれからも沢山取り入れていきたいですね。
- 友だちって??…そよかぜさんになると少しずつ「友だち」の存在に気が付き始めます。まだ「言葉」でのコミュニケーションは難しいですが、楽しい雰囲気と一緒に共有することから友だち付き合いが始まります。大人には分からないけれど、子ども同士でけらけらと笑っていたり!! おもちゃの取り合いも始まりました。さあ、これからはけんかを繰り返して上手なコミュニケーション術を学ぶ時期。保育士が間に入りながらお互いの気持ちを伝えていき、「相手の気持ち」に気が付き寄り添える様になったらいいなと思います。
- お兄さん・お姉さん大好き♥…【異年齢交流】を大切にしています。日常的に大きい子どもたちと過ごすことで沢山の刺激をもらっているそよかぜさん。時には手を繋いで園庭を散歩したり、行事の取り組みを見せてもらったり。お兄さんお姉さんの姿をじーと観察する中で「ぼくもやってみよう」そんなチャレンジ精神も芽生えるようです。だいち組のあかちゃん（そよかぜさんもまだまだ可愛い赤ちゃんですが）に優しくおもちゃを渡してあげたり、そばでじーとみつめて見守っていたり。少しずつお兄さんお姉さんらしく成長しているんですね。
- 絵本大好き、もっと読んでー…お気に入りの絵本を持って来ては「呼んで」とアピールしてくれています。「もう一回!!」と繰り返し繰り返し繰り返し…。保育士に何度も読んでもらって大満足。「物の名前」も分かり始めて指をさして「これは?」「〇〇よ」「これは?」「〇〇よ」という会話を繰り返しています。絵本は、発語を促すとても良いアイテムです。絵本を読んでもらったり、一緒に見たりすることで他者とのコミュニケーションにもつながっていくようですね。

### 保育のヒント (\*\_\*)

★子どもに声をかける時に「オノマトペ」を使っています。例えば!! ズボンをはくときには⇒「ぎゅっぎゅっってひっぱって」「よいしょよいしょ」  
ご飯を楽しく食べられる様に、「♪もぐもぐもーぐもぐ」、靴を履くときに「ぎゅっぎゅっって足入れて」、お片付けの時に「ないないね」「バイバイね」等の様に言葉をリズムカルに繰り返します。ただ話すより、子どもにとっては耳に入りやすいようです。

★おもちゃをしまう場所には【写真】が張ってあります。何をどこに片付けたらいいか【目で見てわかる】ようにする事で、「自分で出来た」経験が多くなり、気分が良いようですね。

★着替えが好きになる工夫としては、先程ご紹介した「シュシュ」を沢山用意しておいて子どもが足に付けられるようにしたり、おままごと用にエプロンや洋服を用意する事で「衣服を身に付ける事」が遊びながら練習できるようにしています。大きい布を腰に巻いたり、表現遊びで使用した「おすし」の衣装も保育者に手伝ってもらいながら身に付けて嬉しそうに遊んでいます。【ボタン】【ホック】【ファスナー】が遊びながら練習できるように布おもちゃも用意しています。

### ふたば組に向けて…

- ・ふたば組になりますと2名の新しいお友だちを迎えて『14名』になります。  
進級時には、保育室や担任も変わり（新しいお友だちが泣いていたり…）不安や寂しさを感じる事が予想されます。「今まで元気に保育園に行っていたのに最近嫌がる事が多い」「お家でべったりになった」等の変化があると思われます。園でも十分スキンシップを図りながら不安や寂しさに対応して参ります。ご家庭の様子等も是非も担任までお知らせください。
- ・身支度の仕方が変わります。ふたば組の生活が落ち着きましたら、ロッカーから自分でビニール袋や洋服を出すようになります。  
より一層「自分で身支度をやる」機会が増えますので持ち物全ての記名をお願い致します。  
まだまだ洋服を汚す事も多い時期です。汚れ物を入れるビニール袋は大きめのものをご用意ください。
- ・健康の観点から「うがい」を導入します。「ぶくぶくぺっ」の練習がスタートしますのでお家でも始めて見て下さい。  
（コップの用意については後日お知らせします。夏以降の予定です。）
- ・新しい保育室での不安を減らす為、少しずつふたば組で遊ぶ時間を多くしていきます。また3月最終週にはふたば組で過ごし環境に慣れる移行期間を設けていきます。